



瀬谷区 在宅医療相談室だより

発行：瀬谷区在宅医療相談室

〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町 489-46 瀬谷区医師会館 2階

☎045-520-3122



5月	医療・福祉従事者向けWEB勉強会	11月	区民向け講演会
6月	せやまるカフェ	12月	区民向け講演会
9月	医療・福祉従事者向けWEB講演会		第19回瀬谷区医療・福祉セミナー
10月	区民向け講演会 個別ケア会議	1月	せやまる office 在宅ネットオーナー部会
		2月	第1回瀬谷区在宅医療研修会
		3月	瀬谷区三師会とケアマネジャー交流会(予定)

令和3年度活動報

5月18日 退院時共同指導と薬剤介助オンライン勉強会

講師：旭区薬剤師会会長 日向彰先生、瀬谷区薬剤師会地域連携担当 久保田充明先生
医療・福祉従事者、近隣医療機関の地域連携室を対象に退院時共同指導とは何か、在宅療養での薬剤介助について、それぞれの職種で何ができるのか等の解説をしていただきました。退院後、在宅へ戻る患者さんを支えるために医療機関、地域の薬剤師、在宅療養を支援している医療・福祉従事者が連携をとるきっかけとなりました。



6月24日 多職種連携交流会 せやまるカフェ

第一部 新型コロナウイルス ～横浜市の現状とワクチンについて～

講師：瀬谷医院 院長 川口浩人先生

第二部 高齢者の口腔機能低下アセスメントとケア

講師：つなしま歯科医院 院長 綱島裕之先生

瀬谷区役所高齢・障害支援課と共催で瀬谷区内の医療介護従事者を対象に開催しました。多くの方にご参加いただき、在宅療養者を新型コロナウイルスから守るための知識、高齢者の口腔機能と健康に関して学ぶことが出来ました。

2月4日 第1回瀬谷区在宅医療研修会

第一部 横浜市における新型コロナウイルスの現状

講師：瀬谷医院 院長 川口浩人先生

第二部 在宅医療相談室の役割とその活用方法

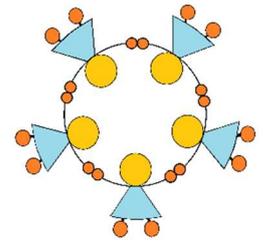
講師：瀬谷区在宅医療相談室 室長 大嶽朋子

横浜市瀬谷区医師会が主催となり医師や訪問看護師、ケアマネジャーを対象に在宅医療研修を開催しました。



あく手の会 活動報告 Akushu

新型コロナウイルス感染症のため、介護者の会や詩音の会を開催できずに2年が経過しました。あく手の会として今何が出来るのかを毎月の定例会で話し合いを行い、会えないから何もしないのではなく、会えないのなら支える側としてのスキルアップをすることにしました。9月27日川崎幸クリニック 認定臨床心理士 稲富正治先生をお迎えし、「自分の辛さや悩み



に気づいていない人、発信できない人に向けたアプローチ方法と接し方」をあく手の会会員だけではなく瀬谷区内の医療・介護にかかわる専門職を対象にご講演いただきました。参加者からはもっと聞きたい、シリーズ化してほしいとの意見をいただき今後は要介護者、介護者を支援する側の研修会も開催していきたいと考えています。集合であく手の会や詩音の会を開催できる時まで、支える側として何が出来るのか、開催するとしたらどのような方法でいつ開催するのかを今後も話し合いながら慎重に進めてまいります。また、昨年度に作成したグリーンケア冊子「大切な人とのお別れのあとに」を手に取り、問い合わせをしてくれる方もいます。コロナ禍で離れた場所で暮らす大切な人を会えないまま亡くした方や思いを話したいけど遺族の会が開催されずにどうしたらよいかなど様々…。感染予防で詩音の会はまだ開催できませんが、お電話で思いを聴くこと、感染が落ち着いたら開催のお知らせを出すことが出来るので気になる方は是非、お問い合わせ先に連絡を試みてください。【お問い合わせ先】☎045-364-1087 介護相談センターひとはな内 あく手の会事務局 メール:handshake@hitohana.co.jp



今こそ ACP!!～人生会議の始め方～



昨年度のせやまるカフェで ACP の理解と啓発・普及に向けて人材育成研修会を開催しました。その後も専門職向けや区民向けに講演を行い、ACP 普及へ関わってまいりました。まだまだ ACP のイメージとして“死”を連想する方が少なくはなりません。ACP とは自分が大切にしていることや望みを自分自身で考え、信頼する人と話し合うことをいいます。また、自分の意思を伝えられなくなっても自分の心の声を伝えることが出来るかけがえのないものです。万が一、

自分で意思表示できなくなった時に誰に代弁してもらうのか、誰にゆだねるのかを決める場でもあります。一度決めたら終わりではなく、人の気持ちは時間と共に揺らぐものなので定期的話し合い、更新することをお勧めします。ACP のきっかけは些細なことでも大丈夫です。ツールも沢山あります。瀬谷区内では瀬谷区版エンディングノートやもしも手帳があります。自分の思いを考えることが難しいようであれば、もしバナカードや価値の引き出しなどもありますので参考にしてみてください。元気なうちからもしもの話を当たり前できるように相談室ではこれからもお手伝いさせていただきます。

国内で初めて新型コロナウイルス感染者が発見されてから2年が経過しました。あの時はまさか2年後もマスクが手放せない生活だとは想像もしていませんでした。日々変化する感染状況と感染症の情報に混乱と不安な日々ではありますが、瀬谷区で在宅療養をする方や支援する方々を支えることが出来るように在宅医療相談室も頑張っていきたいと思っております。早くマスクをしなくて皆様と笑顔で会話が出来ることが来るようになります。

編集 瀬谷区在宅医療相談室 長田 尚子

